

HP 20b ビジネス コンサルタント

金融電卓 クイック スタート ガイド

無料のトレーニングについては、www.hp.com/go/calctraining をご覧ください。



HP part number: F2219-90019

First edition: 2008 年 1 月

法律に関する通知

本書に記載した内容（その例も含む）は、「現状のまま」で提供され、予告なしに変更することがあります。当社は、商品性、権利非侵害、および特定目的に対する適合性についての暗黙の保証を含め、またこれに限定されることなく、本書についての保証は一切行いません。

当社は、本書の誤りや本書の提供、内容の実施、また本書の利用によって偶発的あるいは必然的に生じる損害については責任を負わないものとします。

Copyright © 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

当社の文書による事前の承諾なく、本書の内容の一部または全部を複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

Hewlett-Packard Company

16399 West Bernardo Drive

MS 8-600

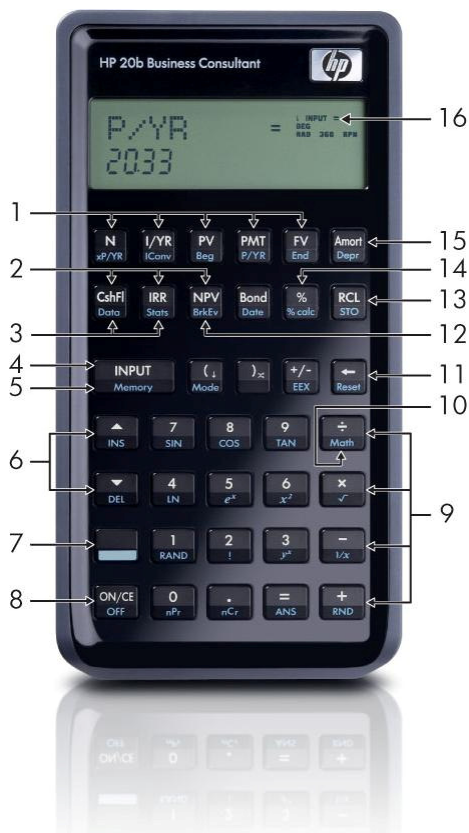
San Diego, CA 92127-1899

USA

内容

法律に関する通知	3
HP 20b ビジネスコンサルタント	5
1 基本的な機能	7
2 数学関数 (行)	20
3 統計演算	33
4 貨幣の時間価値	38
5 キャッシュフロー	47
6 ビジネス問題	58
7 債権	63
8 減価償却	69
9 損益分岐	75
10 保証、規制、および連絡先情報	78

HP 20b ビジネスコンサルタント



キーボード割り当て例

番号	機能	章	番号	機能	章
1	貨幣の時間価値キー	4	16	表示記号ディスプレイ領域	1
2	キャッシュフロー/IRR/NPV メニュー	5	15	償却/減価償却メニュー	4,8
3	データ/統計メニュー	3	14	% キー/パーセント計算メニュー	2,6
4	入力	1	13	保存/呼び出し	1
5	メモリ	1	12	損益分岐メニュー	9
6	上/挿入キーと下/削除キー	1	11	バックスペースキー/リセットメニュー	1
7	シフトキー	1	10	Math メニュー	2
8	オン/オフ	1	9	数学関数 (行)	2

1 基本的な機能

HP 20b 金融電卓をお買い上げいただきありがとうございます

このガイドブックは、新製品の 20b 金融電卓を初めてお使いいただく方を対象にその操作方法を説明します。電卓の操作と機能の詳細は、以下のサイトからトレーニング資料を入手してご覧ください。 www.hp.com/go/calctraining

電源のオン/オフ

電卓の電源を入れるには、 を押します。電源を切るには、 と押します。

電卓の電源を切っても、保存されているデータは消去されません。電卓は、省エネのため 5 分間操作しないと自動的に電源が切れます。ディスプレイに電池容量低下記号 (⏻) が表示された場合は、電池を交換してください。電池の交換方法は、「第 10 章 保証および連絡先情報」をご参照ください。

言語の選択

デフォルトの言語として英語が格納されています。ディスプレイ上のメッセージとして英語以外の言語を選択するには：

1.  と押して、モードメニューにアクセスします。画面の第 1 行に *FIX=* と表示されます。
2. 画面に English と表示されるまで、 を繰り返し押します。
3. 目的の言語が表示されるまで、 を押します。表示される言語がアクティブな設定です。
4.  を押して、電卓のデフォルトの画面に戻ります。

メニューへのアクセス方法と電卓の設定の変更方法の詳細は、以下の「メニューへのアクセス」をご参照ください。

ディスプレイのコントラストの調整

ディスプレイの輝度を調整するには、**ON/CE** を押しながら **+** または **-** キーで行います。**+** または **-** キーを押すたびに、ディスプレイの輝度が少しずつ増加または減少します。

カーソル

数字を入力すると、ディスプレイのカーソル (**-**) が点滅し、数字入力モードになっていることが示されます。

2 行ディスプレイ

ディスプレイ画面は、図 1-1 に示すように 2 行表示です。



図 2-1 ディスプレイ画面

画面の一番上の行には、操作の状態、表示記号、およびレジスタ、変数、メニューの略語が表示されます。このマニュアルでは、この行を第 1 行と呼びます。図 1-1 の *SIN* と右端の *RPN* は第 1 行にあります。

一番下の行には、入力した数字や結果が表示されます。このマニュアルでは、この行を第 2 行と呼びます。

入力されている操作がなく、保留中の操作もない場合、画面の第 2 行には *0* と表示されます。この電卓の状態は、電卓のデフォルト画面と呼ばれます。

モードメニュー：ユーザー設定

モードメニューを使用すると、電卓をカスタマイズできます。モードメニューにアクセスするには、 **Mode** と押します。 または  を押して、 $FIX=2$ (小数点以下の表示桁数) で始まるメニューをスクロールします。アイテムが表示されたら、**INPUT** を押して、該当する設定の他のオプションを順に切り替えます。モードメニューを終了するには、**ON/CE** を押します。以下の表 1-1 には、モードメニューのアイテムを示します。

表 1-1 モードメニューの設定

設定	ディスプレイの説明
FIX= 2	小数点以下の表示桁数。デフォルトは 2 です。 目的の桁数を入力して INPUT を押すか、目的の桁数が表示されるまで = を押します。
Degree (度) または Radian (ラジアン)	度またはラジアン単位の現在の角度モード。 デフォルトは <i>Degree</i> です。 INPUT を押すと、これらのオプションが切り替わります。
日付: mm dd yyyy または dd mm yyyy	メニューに入力される日付の現在の形式: <i>mm dd yyyy</i> または <i>dd mm yyyy</i>。2010 年 12 月 3 日は、<i>mm dd yyyy</i> 形式では <i>12.032010</i>、<i>dd mm yyyy</i> 形式では <i>3.122010</i> と入力します。どちらの形式のドット (.) も、最初のグループと 2 番目のグループを区分しています。 デフォルトは <i>mm dd yyyy</i> 形式です。 INPUT を押すと、これらのオプションが切り替わります。
1.23 または 1,23	小数点またはコンマによる現在の小数点区切り記号。 デフォルトは小数点、<i>1.23</i> です。 INPUT を押すと、これらのオプションが切り替わります。
Decimal (小数点) または Comma (コンマ)	現在の 3 桁の区切り記号。小数点 (1000.00 または 1,000.00)、コンマ (1000,00 または 1.000,00)。 デフォルトは小数点です。 INPUT を押すと、これらのオプションが切り替わります。

表 1-1 モードメニューの設定

設定	ディスプレイの説明
Chain (連鎖)、 Algebraic (代 数)、または RPN	現在の操作モード。 デフォルトは <i>Chain</i> です。  を押すと、これらのオプションが切り替わります。
English (英語) 、Français (フ ランス語)、 Deutsch (ドイ ツ語)、 Español (スペ イン語)	現在の言語オプション。 デフォルトは <i>English</i> です。  を押すと、これらのオプションが切り替わります。
Actual (実日 数建て) また は Cal.360 (年 360 日建て)	債権と日付計算用の現在のカレンダーオプション。 デフォルトは <i>Actual</i> です。  を押すと、これらのオプションが切り替わります。

表 1-1 モードメニューの設定

設定	ディスプレイの説明
Annual (年払い) または Semiannual (半年払い)	現在の債権の種類。 デフォルトは <i>Annual</i> です。  を押すと、これらのオプションが切り替わります。

操作モードの変更

デフォルトの設定を確認したら、操作モードを Chain から RPN に変更することもできます。表 1-2 をご参照ください。

表 1-2 操作モードの変更

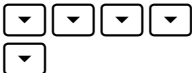
キー	ディスプレイ	説明
		最初の設定オプション <i>FIX=n</i> (小数点以下の表示桁数) で始まるモードメニューを開きます。
 (5 回押す)		操作モードの現在の設定、 <i>Chain</i> までスクロールします。

表 1-2 操作モードの変更

キー	ディスプレイ	説明
  (2 回押す)		アクティブな設定として <i>RPN</i> を選択します。右側の <i>RPN</i> 表示記号にご確認ください。
 または 		繰り返し押して、メニューの他の設定をスクロールします。表示される設定がアクティブな設定です。
		モードメニューを終了して、電卓のデフォルト画面に戻ります。

キーの押し下げとシフト：キー

キーをアクティブにするには、目的のキーを押してから離します。

20b のほとんどのキーには、プライマリ機能と、シフト（またはセカンダリ）機能の 2 つの機能があります。プライマリ機能はキーの上部に印刷されています。セカンダリ機能はキーの傾斜部に印刷されています。

キーのセカンダリ機能をアクティブにするには、 を押してから離し、次にセカンダリ機能が傾斜部に印刷されているキーを押してから離します。タイプライタやコンピュータキーボードのシフトキーとは異なり、 を押しながら別のキーを押す必要はありません。

このマニュアルでは、セカンダリキー機能を持つコマンドは、 と表記されています。ここで、 はシフトキー記号、 はセカンダリ機能を持つキー名です。たとえば、正弦をアクティブにするには、  と押します。

 がアクティブな場合、下向き矢印表示記号が画面に表示され、次に押されたキーがキーのセカンダリ機能を実行することを示します。間違って押した  をキャンセルするには、もう一度  を押します。

問題例用のキーコマンドは、このマニュアル全体と表で提供されています。キー記号は、押す順に左から右に表記されています。

表示記号

表示記号とは、ディスプレイにメッセージとして、または特定のキーやキーの組み合わせを押した後に表示される記号です。表示記号は、電卓の特定の状態を示す特別な記号です。表 1-3 に表示記号を示します。

表 1-3 表示記号

表示記号	状態
()	シフトキーが押されました。この記号の表示中に、別のキーを押すと、キーの傾斜部に印刷されているセカンダリ機能がアクティブになります。
大 (=) 記号	<i>Price =</i> などのようにアイテムと共に表示された場合、その変数に値が割り当てられていることを示します。
小 (=) 記号	 キーが有効になっているアイテムを示します。この記号は、ディスプレイ画面の右上に表示されます。
	電池容量が低下しています。
BEG	開始モードがアクティブになっています。

表 1-3 表示記号

表示記号	状態
STO	数値をメモリに保存します。
RCL	保存されている数値を呼び出します。
RAD	ラジアン設定がアクティブになっています。
RPN	RPN モードがアクティブになっています。
360	360 日カレンダーオプションがアクティブになっています。
INPUT	入力モードがアクティブになっています。

 キー

 キーは、変数に値を入力し、メニューアイテムを実行するために使用されます。

 キーは、Reverse Polish Notation (RPN、逆ポーランド) モードで、スタックに数値を入力したり、値を複製したりするためにも使用されます。

 キー

 キーは、最終結果を計算するために数学演算の最後に使用されます。たとえば、    という演算では最終結果として 3 が返されます。

 キーでは、アイテムの値の計算を要求することもできます。この要求は、計算可能なアイテムにのみ適用されます。

たとえば、利率の換算 (Iconv) メニューで表面金利 (Nom. %=) を選択した場合、数学演算外で [=] を押すと、メニューの他の変数に保存されているデータに基づいて、表面金利が計算され表示されます。

Iconv メニューを開くには、 [Iconv] と押します。Nom. %= は第 1 行に表示され、表面金利に割り当てられている現在の値は第 2 行に表示されます。この画面では、  [INPUT] と押して、表面金利の新しい現在の値を入力します。有効金利の現在の値を計算するには、 に続けて [=] を押します。図 1-2 をご参照ください。

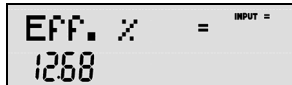


図 1-2

[=] キーが有効なアイテムが表示されると、小記号 (=) が画面右側の第 1 行に表示されます。この小表示記号 (=) を、変数の右側に表示される大表示記号 (=) と混同しないでください。

入力の編集とクリア

On/CE キー

 を 1 回押すと、現在の数値入力、数学演算、またはメニュー選択がこの順にキャンセルされます。

複数の操作または演算の実行中に、または複数の演算の保留中に、 を繰り返し押すと、一度に 1 つずつ新しい演算から古い演算の順にキャンセルされます。

リセット メニュー

リセットメニューでは、メニューアイテム、変数、およびレジスタの一部またはすべてをデフォルト値にリセットできます。

リセットメニューを開くには、  と押します。第 1 行に *TVM* と表示されます。 を繰り返し押して、特定のアイテムまでスクロールします。すべての値をリセットするコマンド *All* を選択すると、選択の確認を求められます。リセットするには、 を押します。*All Reset* メッセージが表示されたら、 または  を押して終了します。

特定のメニューを使用中に   と押すと、このメニューをリセットできるリセットメニューのアイテムに直接移動します。たとえば、債権メニューを使用中に、債権メニューのすべての入力をリセットするとします。この場合、債権メニューの任意の場所で   を押します。画面に *Bond* と表示されます。このプロンプトで、 を押すと、債権メニューがリセットされ、債権メニューで最後に使用していたアイテムに戻ります。

特別メニューに関する注意

モード、メモリ、Math、およびリセットの各メニューは、特別メニューと呼ばれます。 を押してメニューを終了すると、以前のメニュー (存在する場合) に戻るためです。この機能を使用すると、メニューを終了して作業内容を失わずに、複数のメニューを同時に使用できます。

メモリ

キャッシュフローメニューと統計メニューは、同じメモリを共有しており、両方合わせて合計 50 メモリスロットに制限されます。

マクロでは最大 120 個のキーを記録できます。

メニューへのデータの入力は大変な作業量のため、マクロ、キャッシュフロー、統計のリセットコマンドやすべて削除 (*Del. All?*) 関数の使用時に、選択内容の確認が求められます。プロンプトで、確認するには 、キャンセルするには を押します。

メニューとメニューマップへのアクセス

20b の多くの機能は、メニュー内に存在しています。メニューにアクセスするには、使用するメニューのキーまたはシフトキーの組み合わせを押します。メニューを終了するには、 を押します。

たとえば、損益分岐メニューにアクセスするには、 と押します。メニューを開くと、 を繰り返し押して、メニュー内のアイテムをスクロールできます。メニューの最後のアイテムに到達したら、 を押すと、最初のアイテムに戻ります。同様に、最初のアイテムで を 1 回押すと、メニューの最後のアイテムまでスクロールします。

このマニュアルには、各セクションの先頭にメニューマップと呼ばれる図があり、そのセクションで使用されるメニューのナビゲーションに役立ちます。メニューマップの例は、以下の図 1-3 をご参照ください。

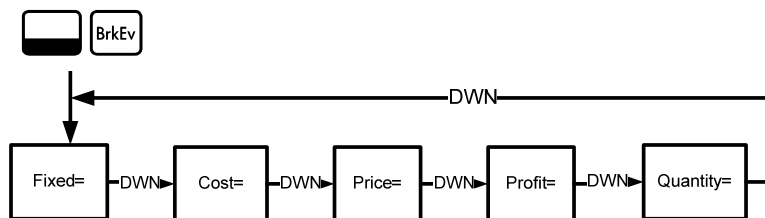


図 1-3 損益分岐メニューのメニューマップ

メニューアイテムには次の 4 つのタイプがあります。

1. **読み取り/書き込み。** 上記の損益分岐メニューの *Price=* などの読み取り/書き込みメニューアイテムは、選択時に *INPUT* と小 *I (=)* 表示記号が両方点灯するため、簡単に認識できます。これらの表示記号が点灯している場合、数値を入力し を押すと、入力した数値が表示されているメニューアイテムに保存されることを示します。 (数学演算外で) を押すと、そのアイテムの値は、メニューの他の場所に入力したデータに基づいて計算されます。
2. **読み取り専用。** *IRR* メニューの投資収益率 (*IRR%=*) などの読み取り専用アイテムは、電卓によって内部的に計算された値であり、表示専用です。
3. **書き込み専用。** 投資時換算額 (*NPV*) メニューの投資金利 (*Inv. I%=*) などの書き込み専用アイテムは、選択時に *INPUT* 表示記号が点灯し、数値を入力し を押すと、その数値が該当するメニューアイテムに保存されることを示すという点で、読み取り/書き込みアイテムに似ています。
4. **特別アイテム。** モードメニューの *Degree/Radian* オプション、リセットメニューのアイテム、パーセント計算 (*%calc*) メニューのアイテムなどの特別アイテムは、 を押すと、操作を実行します。この操作は、メニューに応じて、*%calc* メニューではサブメニューの選択、モードメニューではモードの変更や設定、リセットメニューではデータの消去などになります。

2 数学関数 (行)

数学関数 (行)

数学関数は以下の場所にあります。

-     などのキー上
-   などのシフトまたはセカンダリ機能上
- Math メニュー   内

数値入力とディスプレイ

数値は以下のキーを押して入力します。

- 数字キー、0 ~ 9
- 小数点 
- } キー
-   キー

数値入力を修正するには、{ を押します。{ を押すたびに、入力した最後の数字または記号が消去されます。

モードメニューのオプションを使用して、画面上での数値の表示方法を変更します。電卓のディスプレイ設定の詳細は、「モードメニュー: ユーザー設定」をご参照ください。

ディスプレイに数値を入力するには、数字を連続して押します。数値は最大 12 桁まで入力できます。

数値の符号を正から負に変更するには、} を押します。

非常に大きな数値、および非常に小さな数値を入力するには、科学表記を使用します。たとえば、数値 12345.12^{123} を科学表記で入力するには、最初に仮数部 12345 を入力してから   と押し、指数部を表す数値 123 を入力します。指数部は、 $-499 \sim +499$ の値である必要があります。

連鎖モード

デフォルトでは、電卓は連鎖モードで実行されます。計算モードを変更するには、「モードメニュー: ユーザー設定」をご参照ください。

連鎖モードの計算では、入力順に解釈されます。たとえば、

     のように数値と演算を左から右に入力します。図 2-1 をご参照ください。 の後に演算子キー     を押すと、現在表示されている値を使用して計算が継続されます。



図 2-1 連鎖モードでの計算

連鎖モードでは、左から右への入力順を無効にする場合、カッコ   を使用して演算に優先順位を付けます。

たとえば、 $1 + (2 \times 3)$ を計算するには、乗算演算を優先するためのカッコを使用して、問題を左から右に入力できます。以下の表 2-1 をご参照ください。

表 2-1 連鎖モードでの簡単な算術計算

キー	ディスプレイ	説明
----	--------	----

表 2-1 連鎖モードでの簡単な算術計算

キー	ディスプレイ	説明
1 + (2 × 3)	) 6.00	演算の優先順位を設定し、数値を入力して、2 と 3 の乗算を行います。
=	7.00	1 を 6 に追加して、最終結果として第 2 行に 7.00 を返します。

代数モード

電卓を代数モードに設定するには、「モードメニュー: ユーザー設定」をご参照ください。

代数モードでは、乗算と除算が加算と減算より優先されます。たとえば、代数モードで

1

+

2

×

3

 と押すと、結果として 7.00 が返されます。連鎖モードで同じキーを押すと、結果として 9.00 が返されます。

代数モードの演算は、次の優先順位で行われます。

- 第 1 優先順位: 指数関数 (y^x)
- 第 2 優先順位: 組み合わせと順列
- 第 3 優先順位: 乗算と除算
- 第 4 優先順位: 加算と減算

たとえば、以下のキーを押して、代数モードで $1+2 \times 5 \text{ nPr } 2^2$ を入力したとします。

。この場合、結果は 241 となります。

Reverse Polish Notation (RPN、逆ポーランド) モード

電卓を RPN モードに設定するには、「モードメニュー: ユーザー設定」をご参照ください。

RPN モードでは、最初に数値を入力してから、 に続けて演算キーを押して区切ります。

注:  を押すかどうかは、数値の入力後、次に押すキーが演算子の場合のオプションです。

演算キーまたは関数キーを押すたびに、回答が即座に計算され表示されます。たとえば、RPN で 1 と 2 の 2 つの数値を追加するとします。 と押します。結果として 3.00 が即座に計算され、第 1 行の (+) 記号と共にこの結果が第 2 行に表示されます。

RPN で演算の優先順位を設定するためにカッコを入力する必要はありません。最初にカッコ内に数値と演算子を入力してから、カッコ外の数値と演算子を入力します。問題に複数の組のカッコがある場合、最初に最も内側の演算子と数値から作業を始めます。たとえば、以下のように計算します。 $(3 + 4) \times (5 + 6)$ 。

この問題を計算する 1 つの方法は、最初にカッコ内に数値と演算子を入力してから、カッコ外の数値と演算子を入力します。以下の表 2-2 をご参照ください。

表 2-2 RPN モードでの簡単な算術計算

キー	ディスプレイ	説明
----	--------	----

表 2-2 RPN モードでの簡単な算術計算

キー	ディスプレイ	説明
3 INPUT 4 +	$\frac{+}{700}$	最初の組のカッコ内に数値と演算子を入力します。中間結果が表示されます。(+) と (RPN) の表示記号にご注意ください。
5 INPUT 6 +	$\frac{+}{1100}$	2 番目の組のカッコ内に数値と演算子を入力します。中間結果が表示されます。(+) 表示記号にご注意ください。
$\times$	$\frac{*}{7700}$	表示された結果を使用して演算を続けます。
=	7700	最終結果の 77 を確認します。(*) 表示記号がないことにご注意ください。

1 つの引数をとる関数と Math メニュー

以下の表 2-3 にリストした 1 つの引数をとる数学関数のキーの押し下げは、連鎖、代数、および RPN のすべてのモードに適用されます。1 つの引数をとる関数を実行するには:

1. 数値 x をディスプレイに入力します。
2. 実行する演算に対応したキーまたはキーの組み合わせを押します。結果が第 2 行に表示されます。

たとえば、 $\sqrt{6}$ を計算するには、   と押します。結果として 2.45 が即座に計算され、第 2 行に表示されます。第 1 行に $\sqrt{\quad}$ 記号が表示されます。

注: Math メニューで三角関数計算を行う前に、角度モードが度 (*Degrees*) またはラジアン (*Radians*) に設定されているかを確認してください。アクティブなモードが問題に必要なモードでない場合、設定を変更できます。モードメニューと電卓の設定の詳細は、「モードメニュー: ユーザー設定」をご参照ください。

表 2-3 に、1 つの引数をとる関数を対応するキーと共に示します。

表 2-3 シフト機能数学演算

キー	説明
 	数値を 10 の明示的べき乗で入力します。
 	正弦を計算します。
 	余弦を計算します。
 	正接を計算します。
 	自然対数。
 	e^x 。自然指数の x 乗を計算します。
 	x^2 。 x の 2 乗を返します。
 	平方根を計算します。
 	<i>Random</i> 関数を実行します。範囲が $0 < x < 1$ の乱数を返します。

表 2-3 シフト機能数学演算

キー	説明
 	x の階乗を計算します (ここで $0 \leq x \leq 253$)。
 	y^x 。 y の x 乗を返します。
 	逆数。
 	x を表示形式で指定された桁数に丸めます。デフォルトは小数点以下 2 桁です。

Math メニュー

Math メニューでは、追加の 1 つの引数をとる関数を利用できます。Math メニューを開くには、  と押します。Math メニューのメニューマップは、図 2-2 をご参照ください。

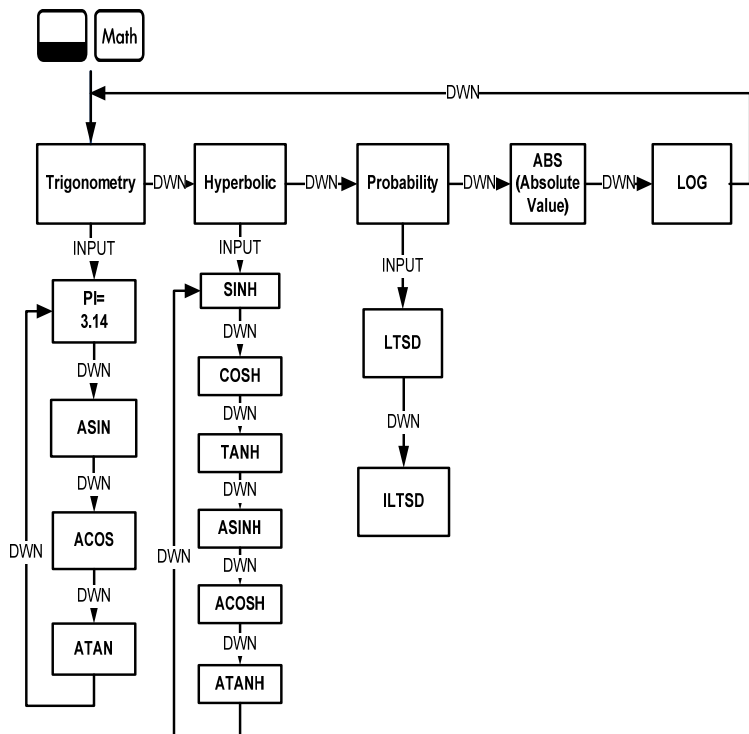


図 2-2 Math メニューのメニューマップ

▼ を押して、*Trigonometry* で始まるメニューアイテムをスクロールします。

Trigonometry、*Hyperbolic*、および *Probability* アイテムにはサブメニューがあり

ます。サブメニュー内の関数にアクセスするには、アイテムが表示された状態で

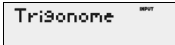
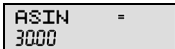
 を押します。

Press  to cancel the Math menu and return to current work.

Math メニューの上部に戻るには、  と押します。

Math メニューを使用して、 $\sin^{-1}(0.5)$ を計算します。表 2-4 をご参照ください。

表 2-4 Math メニューの例

キー	ディスプレイ	説明
    		0.5 と入力して、 <i>Trigonometry</i> で始まる Math メニューを開きます。
 		<i>Trigonometry</i> メニューアイテムを選択して、ASIN までスクロールします。 $\sin^{-1}$ の値が即座に計算され表示されます。
 または 		結果を確認します。

注: Math メニューでは、 π は計算を実行しません。 π によって現在の数値が上書きされます。演算を開始し、Math メニューを使用して関数を実行し、作業内容を失わずに元の演算の計算を続けることもできます。

2つの引数をとる関数

    とは別に、キーボードからは、次の3つの2数値関数にアクセスできます。

- Y^X
- nCr
- nPr

Y^X は指数関数です。 nCr は、異なる n 個の要素から順序を問わずに r 個を取り出したときの組み合わせを表し、 nPr は、異なる n 個の要素から順に r 個を取り出したときの順列を表します。

$$nCr = n! / (r! (n-r)!)$$

$$nPr = n! / (n-r)!$$

これらの関数を使用して、   と  で計算を実行するときと同様の方法で計算を実行しますが、セカンダリ機能キーにアクセスするには、 を押します。たとえば、 15^3 を計算するには：

1.   と押します。
2.   と押します。
3.   と押します。結果を図 2-3 に示します。



図 2-3

RPN モードでは、最初に数値を入力してから、**INPUT** に続けて関数キーを押します。たとえば、上記の指数関数の例では、RPN で以下のキーを押します。

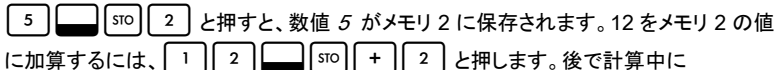


数値の保存と呼び出し

EURO には、計算中に使用できる 10 個の計算メモリがあります。これらのメモリには、0 ~ 9 の番号が付けられています。数値を保存するには **STO** を、数値を呼び出すには **RCL** を押します。数値が表示されているときにいつでも、または数値を入力するときに、これらのメモリに対して保存関数と呼び出し関数を使用できます。数値をメモリに保存するには：

1. 数値 x を入力します。
2. **STO** と押します。
3. 第 1 行に **STO** が表示されている状態で、0 ~ 9 の数値を入力して、 x を保存するメモリレジスタの番号を指定します。
4. 数値を呼び出すには、**RCL** を押します。第 1 行に **RCL** が表示されている状態で、使用するメモリの番号を入力します。

保存されている数値に対して演算を行うこともできます。たとえば、



に加算するには、

RCL **2** と押すと、メモリ 2 を呼び出すことができます。現在の値が $17(5 + 12)$ になっていることにご注意ください。 **+** **-** **×** および **÷** は、ストレージメモリの有効な数学演算子です。

保存されている数値の呼び出し

RPN では、**1** **2** **RCL** **+** **2** **=** と入力すると、メモリ 2 の値が 12 に加算されますが、メモリ 2 に保存されている値は変更されません。**RCL** の後に **-** **×** と **÷** を使用することもできます。

代数モードと連鎖モードでは、**1** **2** **+** **RCL** **2** **=** と押します。

数値の丸め

20b では、すべての計算を内部的に 15 桁の精度で実行し、結果を返すときに 12 桁に丸めます。

表示する際、数値はモードメニューの **FIX=** アイテムで設定された小数点以下の桁数に丸められます。デフォルト設定は小数点以下 2 桁です。詳細は、「モードメニュー: ユーザー設定」をご参照ください。

注: **FIX=** 設定は表示のみに影響します。実際の数値に影響を与えることはありません。

簡単な百分率

代数モードまたは連鎖モードでは、**%** を押すと、数値が 100 で除算されます。たとえば、**2** **5** **%** と押すと、 0.25 が返されます。

指定された数値の特定の百分率を求めるには、数値を入力し目的の百分率で乗算して **=** を入力すると、結果が返されます。たとえば、200 の 25% を求めるには、**2** **0** **0** **×** **2** **5** **%** **=** と押すと、 50 という結果が返されます。

数値に対して特定の百分率を加算または減算するには、元の数値、+ または - の百分率、 $\boxed{\%}$ の順に入力します。必要に応じて、 $\boxed{=}$ で計算を終了します。たとえば、50 に 10% を加算するには、 $\boxed{5} \boxed{0} \boxed{+} \boxed{1} \boxed{0} \boxed{\%} \boxed{=}$ と押すと、55 という結果が返されます。

RPN モードでは、 $\boxed{\%}$ キーを押すと、 x がスタックのレベル 1 の数値である場合、その数値の $x\%$ がスタックのレベル 2 で計算されます。これで数値のスタックのレベル 2 が変更されないため、 $\boxed{\%}$ を押した後に加算または減算を実行して、該当する数値に対してその $x\%$ を加算または減算できます。

たとえば、 $\boxed{2} \boxed{0} \boxed{0} \boxed{\text{INPUT}} \boxed{2} \boxed{5} \boxed{\%}$ と押すと、50 が返されますが、200 はスタックのレベル 2 のままであるため、 $\boxed{-}$ を押すと、第 1 行に (-) 表示記号が表示された状態で 150 または 200-25% と返されます。

3 統計演算

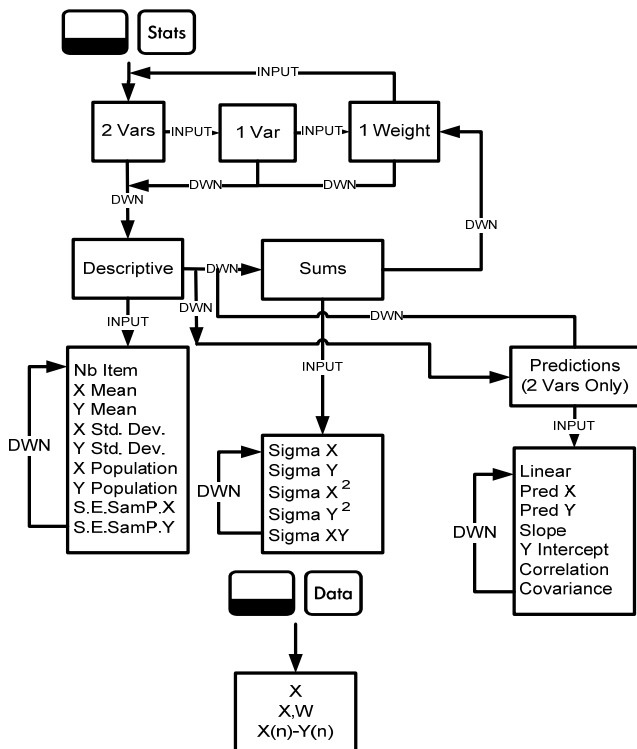


図 3-1 データメニューと統計メニューのメニューマップ

統計演算では、 **Data** と  **Stats** の 2 つのセカンダリ機能キーを使用する必要があります。メニューのナビゲーション方法は、図 3-1 をご参照ください。

データメニューを開くには、 **Data** と押します。このメニューでは、1 変数統計の x 値のリスト、1 変数加重統計のペアのリスト (x , w)、または 2 変数統計のペア値のリスト (x , y) を入力します。データを入力するには、数値を入力して  を押します。

データを解析するには、 **Stats** と押します。データの入力前に統計 (Stats) メニューを開くと、データメニューに切り替えられます。メニューが開くと、*2 Vars* と表示されます。 を繰り返し押して、2 変数 (*2 Vars*)、1 変数 (*1 Var*)、および 1 変数加重 (*1 Weight*) のメニューアイテムをスクロールします。最初のサブメニューを開くには、アイテムが表示された状態で  を押します。サブメニューから上記のメニューに戻るには、 と押します。

統計メニューとデータメニューをリセットするには、 **Reset** と押します。*Stats=* のプロンプトで、 を押して選択を確認します。

最初のサブメニューには、*Descriptions* (説明)、*Predictions (2 Vars only)* (予測 (2 変数のみ))、および *Sums* (集計) のアイテムがあります。 または  を繰り返し押して、アイテムをスクロールします。サブメニューを開くには、アイテムが表示された状態で  を押します。 または  を繰り返し押して、結果を表示します。

注: 1 変数および 1 変数加重アイテムでは、 y 用のアイテムはありません。*Stats* メニューの使用例は、表 3-1 および表 3-2 をご参照ください。以下の例は、アクティブな動作モードとして RPN で示しています。

以下に、過去 5 か月間の売上高を該当する月を x 、売上高を y として値のペアで表しています。これらの値をデータメニューに入力します。*Predictions* 用の

Stats メニューを使用して、7 月の売上高を予測してください。線形回帰線の傾きと y 切片はいくつですか？ y 値すべての合計はいくつですか？

表 3-1 月と売上高

月	売上高
1	150
2	165
3	160
4	175
5	170

表 3-2 統計メニューの例

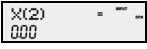
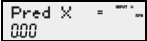
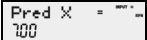
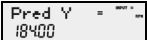
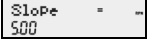
キー	ディスプレイ	説明
 Data		X(1) の現在の値で始まるデータメニューを開きます。
1 INPUT 1 5 0 INPUT		X(1) および Y(1) の現在の値を入力します。X(2) の現在の値を表示します。

表 3-2 統計メニューの例

キー	ディスプレイ	説明
2 INPUT 1 6 5 INPUT	X(3) 000	X(2) および Y(2) の現在の値を入力します。X(3) の現在の値を表示します。
3 INPUT 1 6 0 INPUT	X(4) 000	X(3) および Y(3) の現在の値を入力します。X(4) の現在の値を表示します。
4 INPUT 1 7 5 INPUT	X(5) 000	X(4) および Y(4) の現在の値を入力します。X(5) の現在の値を表示します。
5 INPUT 1 7 0 INPUT	X(6) 000	X(5) および Y(5) の現在の値を入力します。X(6) の現在の値を表示します。
 Stats	2 Vars	Stats メニューを開きます。
	Descriptiv	説明用のサブメニューを開きます。
INPUT  	$\bar{y}$ Mean 16400	y 平均の現在の値を表示します。

表 3-2 統計メニューの例

キー	ディスプレイ	説明
    		Linear (線形) で始まる予測用のサブメニューを開きます。
		X の予測値の現在の値までスクロールします。
 		X の予測値 (月) の現在の値を入力します。
 		Y の予測値 (売上高) を計算します。
		傾きの現在の値を表示します。
		y 切片の現在の値を表示します。
		相関の現在の値を表示します。
      		集計用のサブメニューを開きます。y 値すべての集計 (Sigma Y). の現在の値を表示します。

4 貨幣の時間価値

以降のセクションの例は、別途記載されていない限り、モードメニューのユーザー設定のデフォルト設定を使用して計算されています。基本的な機能とユーザー設定の詳細は、「第 1 章 基本的な機能」をご参照ください。

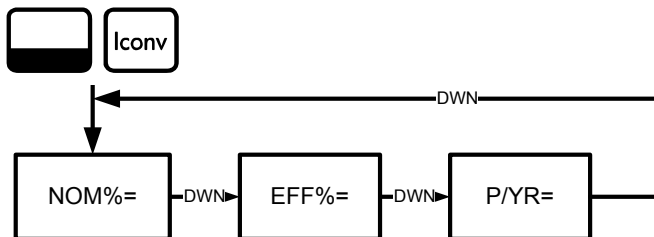


図 4-1 利率の換算メニューのメニューマップ

利率の換算メニュー

利率の換算メニュー (Iconv) を開くには、 と押します。

変数をデフォルト値にリセットするには、メニュー内の任意の場所から と押します。Iconv が表示された状態で、リセットするには 、キャンセルするには を押します。メニューを終了するには、 を押します。図 4-1 をご参照ください。表 4-1 に、Iconv メニューのアイテムの説明を示します。

表 4-1 利率の換算メニューのアイテム

アイテム	説明
<i>Nom</i> %=	18% の月ごとの複利など、定期的複利の年間表面金利。
<i>Eff</i> %=	年に一度の複利で、表面金利と同じ最終金額を算出する利率。
<i>P/YR</i> =	年間の支払回数または複利期間。デフォルトは 12 です。

Iconv メニューを使用して、36.5% の表面金利を毎日の複利計算した場合の実質金利を調べます。メニューのナビゲーション方法は、図 3-1 をご参照ください。

以下の例は、アクティブな動作モードとして RPN で計算しています。表 4-2 をご参照ください。

表 4-2 利率の換算の例

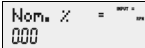
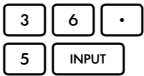
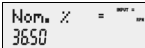
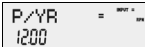
キー	ディスプレイ	説明
		表面金利の現在の値で始まる Iconv メニューを開きます。
		現在の表面金利として 36.5 と入力します。
		年間の支払回数 <i>P/YR</i> までスクロールします。デフォルト値は 12 です。

表 4-2 利率の換算の例

キー	ディスプレイ	説明
3 6 5 INPUT	P/YR = 36500	年間の複利期間または支払回数の現在の値として 365 と入力します。
▲ =	EFF. % = 4403	実質金利の変数 $Eff\%$ までスクロールします。実質金利が返されます。 36.5% の表面金利を毎日の複利計算した場合、実質金利は 44.03% となります。

TVM キーと値の入力

TVM の問題とその説明に使用されるキーのリストは、表 4-3 をご参照ください。

TVM 変数をデフォルト値にリセットするには、TVM 変数が表示された状態で  **Reset** と押します。TVM が表示された状態で、 **INPUT** を押します。TVM *Reset* プロンプトで、 **INPUT** または  **ON/CE** を押します。

現在のデータを入力するには、数値に続いて、必要なアイテムの TVM キーを入力します。未知の値を計算するには、既知の値すべてを入力してから、解決したいアイテムのキーを押します。TVM の例は、表 4-4 をご参照ください。

表 4-3 TVM キー

キー	説明
----	----

表 4-3 TVM キー

キー	説明
N	支払回数または複利期間の数値 (N) を保存または計算します。
xP/YR	値を年間の支払回数と乗算し、N として保存します。
I/YR	年間の表示金利を百分率として保存または計算します。
PV	現在価値 (PV) を保存または計算します。貸す側と借りる側にとって、PV はローン残高であり、投資する側にとって、PV は初期投資額です。PV は常に最初の期間の始めに発生します。
PMT	定期的な各支払 (PMT) の金額を保存または計算します。支払は、各複利期間の最初または最後に行うことができます。
P/YR	年間の支払回数または複利期間の数値を保存または計算します。
FV	将来価値 (FV)、最終キャッシュフローを保存または計算します。FV は常に最後の複利期間の終わりに発生します。
Beg	開始モード (Beg) を設定します。支払は、各複利期間の最初に行うことができます。
End	終了モード (End) を設定します。支払は、各複利期間の最後に行うことができます。

信用組合から \$140,000.00 ドルを 30 年間 (360 か月)、年利 6.5% の月ごとの複利で借りるとします。信用組合に対する月ごとの支払はいくらになるでしょうか？ 注: 30 年経過後に残高ゼロ ($FV=0$) になるとします。以下の表 4-4 の例は、アクティブな動作モードとして RPN で示しています。

表 4-4 TVM の例

キー	ディスプレイ	説明
1 2  P/YR	P/Y = 1200	支払回数または複利期間の現在の値として 12 と入力します。
3 6 0 N	N = 36000	30 年間にわたる支払回数の現在の値として 360 と入力します。
6 . 5 I/YR	I/YR = 650	年間の金利百分率の現在の値として 6.5 と入力します。
1 4 0 0 0 0 0 PV	PV = 14000000	初回支払時のローンの現在価値を入力します。この値は正 (+) で、受け取る金額です。
0 FV	FV = 000	ローンの将来価値 (または残高) を 0 と入力します。
PMT	PMT = -88490	毎月の支払額を返します。この結果は負 (-) で、支払う金額です。

償却

償却メニューのメニューマップは、図 4-2 をご参照ください。表 4-5 に、償却メニューのキーと変数を示します。メニューを開くには、**Amort** を押します。償却メニューの計算は、以下の TVM キーに格納されている値に基づいて行われます。**N**、**I/YR**、**PV**、**PMT**、および **P/YR**。

TVM キーの現在のデータを入力するには、数値に続いて、必要なアイテムのキーを入力します。

変数をデフォルト値にリセットするには、**Amort** メニュー内の任意の場所から **Reset** と押します。TVM が表示された状態で、**INPUT** を押します。TVM Reset プロンプトで、**INPUT** または **ON/CE** を押します。

償却の例は、表 4-6 をご参照ください。

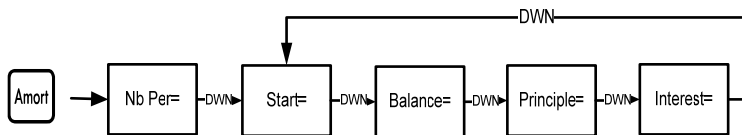


図 4-2 償却メニューのメニューマップ

表 4-5 償却メニューのアイテム

メニューアイテム/キー	説明
Amort	<i>Nb Per=</i> で始まる償却 (amrt) メニューを開きます。
	<i>Nb Per=</i>

表 4-5 償却メニューのアイテム

メニューアイテム/キー	説明
<i>Nb Per=</i>	償却計算でグループ化する期間数。デフォルト値は、 P/YR キーで定義される年間の支払回数です。
<i>Start=</i>	償却を開始する期間。デフォルトは 1 です。2 年目から償却する場合、13 (2 年目は 13 回目の支払から始まります) と入力します。
<i>Balance=</i>	割り当てられた償却期間の最後のローン残高。
<i>Principle=</i>	償却期間の最後に素因に適用されるローン支払額。
<i>Interest=</i>	償却期間の最後に利率に適用されるローン支払額。

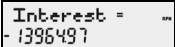
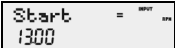
以下の例から TVM キーの値を入力します。償却スケジュールを表示するには、Amort に続いて ▲ または ▼ を押します。

信用組合から \$140,000.00 ドルを 360 か月、利率 10% で借りるとします。ローンの償却スケジュールを作成します。初年度に支払う利息はいくらでしょうか？初年度経過後のローン残高はいくらでしょうか？表 4-6 をご参照ください。以下の例は、アクティブな動作モードとして RPN で示しています。

表 4-6 償却の例

キー	ディスプレイ	説明
1 2 P/YR	P/Y = 1200	年間支払の現在の値として 12 と入力します。
3 0 xP/YR	N = 36000	30 年ローンの支払回数の現在の値として、360 (30×12 (年間支払回数)) と入力します。
1 0 I/YR	I/YR = 1000	年間の現在の金利百分率として 10 と入力します。
1 4 0 0 0 0 PV	PV = 140000000	初回支払時のローンの現在価値を入力します。
0 FV	FV = 000	ローンの現在の将来価値 (または残高) を 0 (残高ゼロ) と入力します。
PMT	PMT = -122860	毎月の支払額の結果を返します。
Amort	Nb Per = 1200	償却の現在の期間を月数で表示します。デフォルトは 12 です。
▼	Start = 100	償却対象の最初の期間の開始支払額を表示します。
▼	Balance = 13922177	初年度経過後の現在のローン残高を表示します。
▼	Principal = -77823	初年度のローンに適用される素因の現在の額を表示します。

表 4-6 償却の例

キー	ディスプレイ	説明
		初年度のローンに支払われる利息額を表示します。初年度の利息に適用される支払額は、\$14,000.00 ドルです。
		償却対象の次の期間（2 年目）の最初の支払額を表示します。

5 キャッシュフロー

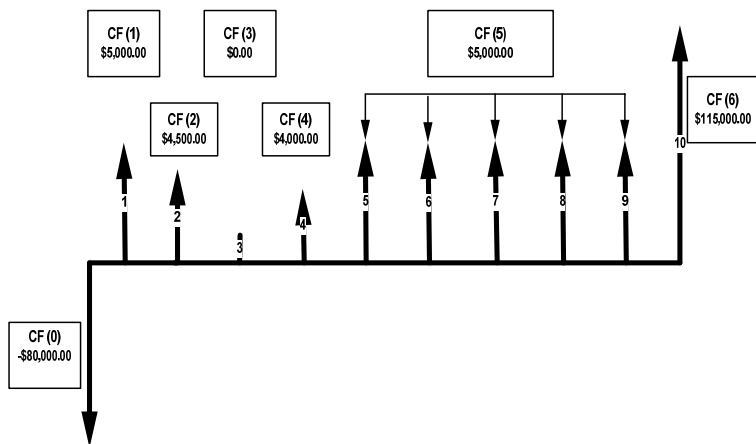


図 5-1 キャッシュフロー図

キャッシュフローリストは、 $CF(n)$ と $\#CF(n)$ の番号付きペアのセットです。ここで n はキャッシュフローリストのインデックスです。各ペアは1つのキャッシュフローを表します。

$CF(n)$ は、キャッシュフローの貨幣価値を表します。 $\#CF(n)$ は、該当するキャッシュフローの連続した発生回数です。デフォルトでは、 $\#CF(n)$ は1です。ほとんどのキャッシュフローは1回しか発生しないためです。ただし、キャッシュフローがリスト内で複数回繰り返される場合、キャッシュフロー値を複数回入力する代わりに $\#CF(n)$ を使用すると、時間と電卓のメモリスペースを節約できます。

キャッシュフローリストを入力するには、 を押してキャッシュフローメニューを開きます。

各キャッシュフローアイテムに対して、キャッシュフローに続けて  を入力します。
次に、発生回数に続けて  を入力します。

キャッシュフローが 1 回発生する場合は、  と入力する必要はありません。
1 はデフォルトであるため、 と押すだけで済みます。

キャッシュフローリストをデフォルト値にリセットするには、キャッシュフローが表示された状態で  と押します。Cash Flow= と共にリスト内のキャッシュフローの数が表示されます。このプロンプトで、 を押します。選択の確認が求められます。
 を押して確認し、 を押してキャッシュフローリストに戻ります。または、 を押してキャンセルします。リセットコマンドのキャンセル後に  をもう一度押しても、キャッシュフローリストに戻ります。

表 5-1 に、キャッシュフロー問題に使用されるキーを示します。キャッシュフローの例は、表 5-2 をご参照ください。

表 5-1 キャッシュフローキー

キー	説明
	キャッシュフローリストを開きます。
	キャッシュフローリスト内の変数、および投資時換算額 (NPV) メニューと投資収益率 (IRR) メニューの変数に現在の値を入力します。
 	上下にスクロールします。

表 5-1 キャッシュフローキー

キー	説明
	キャッシュフローをキャッシュフローリストに挿入します。
	キャッシュフローをキャッシュフローリストから削除します。
 	投資収益率 (IRR) メニューと投資時換算額 (NPV) メニューを開きます。

\$80,000.00ドルの初期投資後、今後 5 年間にわたって以下のような収益を期待しています。キャッシュフロー 1 で \$5,000.00ドル、キャッシュフロー 2 で \$4,500.00ドル、キャッシュフロー 3 で \$0.00ドル、キャッシュフロー 4 で \$4,000.00ドル、キャッシュフロー 5 で \$5,000.00ドル 5 回、キャッシュフロー 6 で \$115,000.00ドル。

この情報に基づいて、キャッシュフローの合計額と投資収益率 (IRR) を計算してください。年間投資金利を 10.5% として、投資時換算額 (NPV) と終価換算額 (NFV) を計算します。図 5-1 および表 5-2 をご参照ください。以下の例は、アクティブな動作モードとして RPN で示しています。

表 5-2 キャッシュフローの例

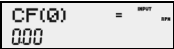
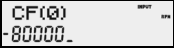
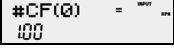
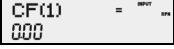
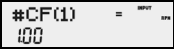
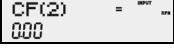
キー	ディスプレイ	説明
		初期キャッシュフロー $CF(0)$ の現在の値で始まるキャッシュフローリストを開きます。
     		初期キャッシュフローの値として -80000 と入力します。注: キャッシュアウトフローの符号は負です。
		$CF(0)$ の現在の値として -80000 と入力します。 $CF(0)$ の頻度として現在の値 1 が表示されます。
		$CF(0)$ の頻度の現在の値として 1 と入力します。 $CF(1)$ の現在の値が表示されます。
   		$CF(1)$ の値として 5000 と入力します。
		$CF(1)$ の現在の値として 5000 と入力します。 $CF(1)$ の頻度として現在の値 1 が表示されます。
		$CF(1)$ の頻度の現在の値として 1 と入力します。 $CF(2)$ の現在の値が表示されます。

表 5-2 キャッシュフローの例

キー	ディスプレイ	説明
4 5 0 0	CF(2) 4500	CF (2) の現在の値として 4500 と入力します。
INPUT	#CF(2) 100	CF (2) の現在の値として 4500 と入力します。CF (2) の頻度として現在の値 1 が表示されます。
INPUT	CF(3) 000	CF (2) の頻度の現在の値として 1 と入力します。CF (3) の現在の値が表示されます。
INPUT	#CF(3) 100	CF (3) の現在の値として 0 と入力します。CF (3) の頻度として現在の値 1 が表示されます。
INPUT	CF(4) 000	CF (3) の頻度の現在の値として 1 と入力します。CF (4) の現在の値が表示されます。
4 0 0 0	CF(4) 4000	CF (4) の現在の値として 4000 と入力します。
INPUT	#CF(4) 100	CF (4) の現在の値として 4000 と入力します。CF (4) の頻度として現在の値 1 が表示されます。
INPUT	CF(5) 000	CF (4) の頻度の現在の値として 1 と入力します。CF (5) の現在の値が表示されます。

表 5-2 キャッシュフローの例

キー	ディスプレイ	説明
5 0 0 0	CF(5) 5000	CF(5) の現在の値として 5000 と入力します。
INPUT	#CF(5) = 100	CF(5) の現在の値として 5000 と割り当てます。CF(5) の頻度として現在の値 1 が表示されます。
5	#CF(5) 5	CF(5) の頻度の現在の値として 5 と入力します。
INPUT	CF(6) = 000	CF(5) の頻度の現在の値として 5 と入力します。CF(6) の現在の値が表示されます。
1 1 5 0 0 0	CF(6) 115000	CF(6) の現在の値として 115000 と入力します。
INPUT	#CF(6) = 100	CF(6) の現在の値として 115000 と入力します。CF(6) の頻度として現在の値 1 が表示されます。
INPUT	CF(7) = 000	CF(6) の頻度の現在の値として 1 と入力します。リストを終了します。

キャッシュフローの解析

キャッシュフローの解析に使用される各種の機能は、NPV NPV メニューと IRR IRR メニューにあります。

キャッシュフローに入る前に  または  を押すと、キャッシュフローリストに値を入力するためのキャッシュフローメニューに切り替えられます。

図 5-2 に、IRR メニューと NPV メニューのメニューマップを示します。表 5-3 には、これらのメニュー内のアイテムの説明を示します。

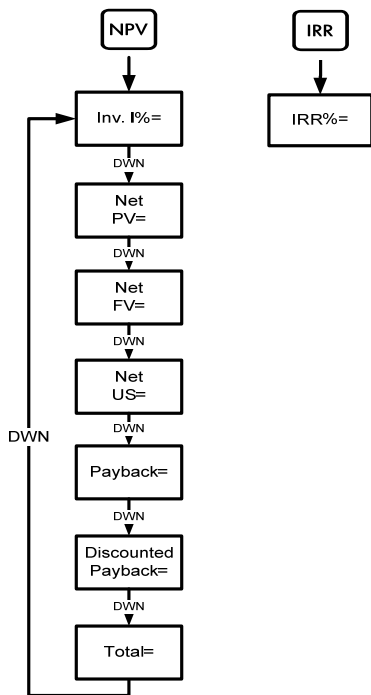


図 5-2 NPV メニューと IRR メニューのメニューマップ

表 5-3 NPV メニューと IRR メニューのアイテム

アイテム	説明
<i>Inv. I%=</i>	投資率または割引率。キャッシュフローの投資率または割引率に続いて、 INPUT と入力します。
<i>Net PV=</i>	投資時換算額。初期キャッシュフロー時のキャッシュフローの値から、 <i>Inv. I%</i> 用に設定された将来のキャッシュフローを割り引いた値を返します。
<i>Net FV=</i>	終価換算額。最終キャッシュフロー時のキャッシュフローの値から、 <i>Inv. I%</i> 用に設定された初期のキャッシュフローを割り引いた値を返します。
<i>Net US=</i>	等額入出金換算額。キャッシュフローリストに対する、等額投資換算額の一定の定期的キャッシュフローの期間ごとの支払額。
<i>Payback=</i>	回収期間。投資を回収できる期間数。
<i>Discounted Payback=</i>	割引回収期間。キャッシュフローが <i>Inv. I%</i> 用に設定された値を使用して割り引かれている場合、投資の回収に要する期間数。
<i>Total=</i>	<i>Inv. I%</i> が 0 の場合に、NPV と等価のすべてのキャッシュフローの合計。
IRR <i>IRR%=</i>	投資収益率。これは、投資時換算額として 0 を返すキャッシュフローの割引率です。

表 5-2 のキャッシュフローの例を使用した NPV 機能と IRR 機能の例は、表 5-4 をご参照ください。メニューを開くには、 および を押します。*Inv. I%* で、数値に

続けて **INPUT** と入力します。 **▲** または **▼** を繰り返し押して、メニューをスクロールします。以下の例は、アクティブな動作モードとして RPN で示しています。

表 5-4 NPV と IRR の例

キー	ディスプレイ	説明
NPV	Inv. I% = ... 000	Inv. I% の現在の値で始まる NPV メニューを開きます。
1 0 . 5 INPUT	Inv. I% = ... 10.50	現在の Inv. I% として 10.5 と入力します。
▼	Net PV = ... -1418280	NPV の現在の値までスクロールします。
▼	Net FV = ... -3849326	NFV の現在の値までスクロールします。
▼	Net US = ... -235199	等額入出金換算額 (Net US) の現在の値までスクロールします。
▼	Payback = ... 936	回収の現在の値までスクロールします。
▼ ▼	Total = ... 7350000	キャッシュフロー合計の現在の値までスクロールします。
IRR	IRR% = ... 790	IRR の現在の値を返します。

キャッシュフローの編集

キャッシュフローリストでは、特定のキャッシュフローの現在の値を表示および変更できます。 または  を繰り返し押して、リストをスクロールします。入力を変更するには、新しい数値を入力し、キャッシュフローが表示された状態で  を押します。たとえば、表 5-2 の例で CF(7) の現在の値を 0 から 200 に変更するには、CF(7)= が表示された状態で   、 の順に押します。同様に頻度 $\#CF(n) =$ が表示された状態で、キャッシュフローの頻度を変更することもできます。キャッシュフローが表示された状態で   と押すと、表示されているキャッシュフローが消去されます。  と押すと、リストの表示されているキャッシュフローの前にキャッシュフローが挿入されます。

6 ビジネス問題

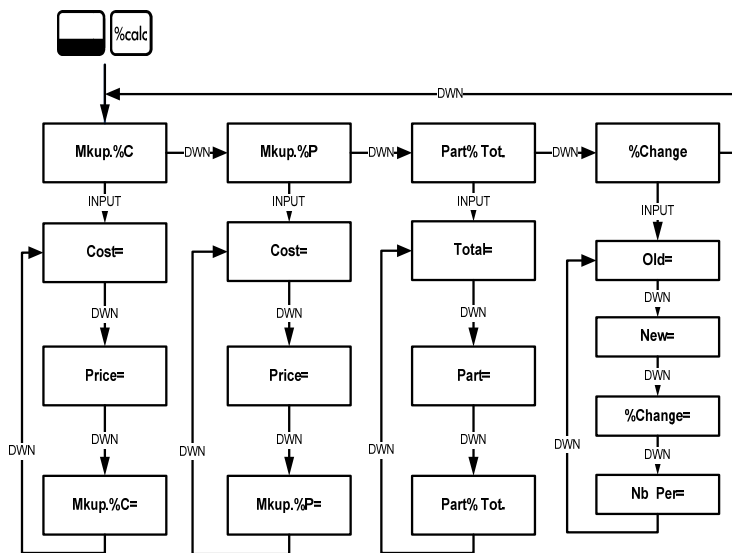


図 6-1 パーセント計算 (%calc) メニューのメニューマップ

メニューを開くには、 と押します。このメニューには次の 4 つのアイテムがあります。原価を基準にした粗利率 (*Mkup. %C*)、売価を基準にした粗利率 (*Mkup. %P*)、増減率 (*%Change*)、および全体の中の一部の比率 (*Part%Tot.*)。これらのアイテムを使用すると、サブメニューにアクセスできます。 または を繰り返し押して、必要なアイテムまでスクロールします。サブメニューにアクセスするには、メニューアイ

テムが表示された状態で  を押します。サブメニューにデータを入力するには、該当するメニューアイテムを選択し、数値を入力して  を押します。 または  を押して、解決する必要があるメニューアイテムを選択し、 を押して計算します。

サブメニューからメニューアイテムに戻るには、 を押します。

注: 20b を使用したビジネス問題では、利幅は売価に基づき、粗利は原価に基づきます。

メニューアイテムをデフォルト値にリセットするには、%calc メニュー内の任意の場所から  と押します。TVMが表示された状態で、 または  を押して %Calc が表示されるまでスクロールし、 を押します。 を押してメニューを終了します。%calc メニューでの計算例は、表 6-1 ~ 6-3 をご参照ください。以下の例は、アクティブな動作モードとして RPN で示しています。

1. 原価が \$15.00 ドルで、売価が \$22.00 ドルの場合のアイテムの粗利率を求めます。表 6-1 をご参照ください。

表 6-1 粗利率の例

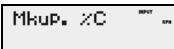
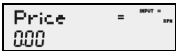
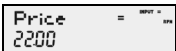
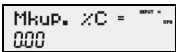
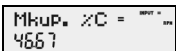
キー	ディスプレイ	説明
 		Mkup.%C で始まる %calc メニューを開きます。
		Cost= の現在の値を表示します。
  		原価の現在の値として 15 と入力します。

表 6-1 粗利率の例

キー	ディスプレイ	説明
		<i>Price</i> =までスクロールし、現在の値を表示します。
  		売価の現在の値として <i>22</i> と入力します。
		<i>Mkup. %C</i> 変数までスクロールします。 (=) 記号に注意してください。粗利率の現在の値を表示します。
		粗利率の結果として <i>46.67</i> を返します。

2. 複利なしで 20% と 35% の増減率を求めます。

表 6-2 増減率の例

キー	ディスプレイ	説明
 %calc	Mkup. %C INPUT 0%	Mkup.%Cで始まる %calc メニューを開きます。
  	%Change INPUT 0%	%Change までスクロールします。
INPUT	Old = INPUT 0%	Old= の現在の値を表示します。
2 0 INPUT	Old = INPUT 2000	Old= の現在の値として 20 と入力します。
	New = INPUT 0%	New= の現在の値を表示します。
3 5 INPUT	New = INPUT 3500	New= の現在の値として 35 と入力します。
	%Change = INPUT 0%	%Change= の現在の値を表示します。注: (=) 記号に注意してください。
=	%Change = INPUT 7500	%Change= の現在の値を計算します。

3. 80 の 30% はいくつでしょうか？

表 6-3 全体の中の一部の比率の例

キー	ディスプレイ	説明
 %calc	Mkup. %C INPUT =	Mkup.%Cで始まる %calc メニューを開きます。
 	Part %To INPUT =	Part %Tot. メニューアイテムまでスクロールします。
INPUT	Total = INPUT = 000	Total= の現在の値を表示します。
8 0 INPUT	Total = INPUT = 8000	Total= の現在の値として 80 と入力します。
	Part = INPUT = 000	Part= の現在の値までスクロールします。
3 0 INPUT	Part = INPUT = 3000	Part= の現在の値として 30 と入力します。
	Part %To = INPUT = 000	Part % Tot.= の現在の値までスクロールします。(=) 記号に注意してください。
=	Part %To = INPUT = 3750	Part % Tot.= の現在の値を計算します。30 は 80 の 37.50% です。

7 債権

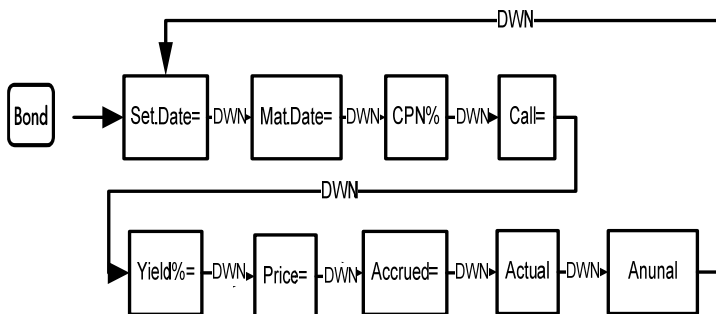


図 7-1 債権メニューのメニューマップ

債権メニューに入る前に、日付形式が問題に必要な形式に設定されていることを確認してください。デフォルトの設定は *mm. dd yyyy* ですが、*dd. mm yyyy* に設定することもできます。モードメニューまたは債権メニューから、債権日数の計算方式 (360/365) および年払いまたは半年払いの利払い方式を設定できます。モードメニューでのユーザー設定の詳細は、「モードメニュー: ユーザー設定」をご参照ください。

債権メニューを開くには、**Bond** を押します。

▲ または **▼** を繰り返し押して、図 7-1 に示すアイテムをスクロールします。現在のデータを入力するには、アイテムが表示された状態で、数値を入力して **INPUT** を押

します。 または  を繰り返し押して、未知のアイテムまでスクロールし  を押して計算します。

値をデフォルト値にリセットするには、債権メニュー内の任意の場所から  と押します。Bond が表示された状態で、メニューをリセットするには 、キャンセルするには  を押します。メニューを終了するには、もう一度  を押します。

表 7-1 に、債権メニューのアイテムを示します。債権メニューでの価格と利回りの計算例は、表 7-2 をご参照ください。

表 7-1 債権メニュー

変数	説明
<i>Settlement Date</i> =	決済日。現在の決済日を <i>mm. ddyyyy</i> または <i>dd. mmyyyy</i> 形式で表示します。注: 入力のみ。
<i>Maturity Date</i> =	最終償還日またはコール実行日。コール実行日は、利払い日と一致している必要があります。現在の最終償還日を <i>mm. ddyyyy</i> または <i>dd. mmyyyy</i> 形式で表示します。注: 入力のみ。
<i>CPN</i> %=	年利として保存されるクーポンレート。注: 入力のみ。
<i>Call</i> =	コール償還価格。デフォルトは、額面 \$100.00 ドルあたりのコール償還価格に設定されます。最終償還日まで保有する債権のコール償還価格は、額面の 100% となります。注: 入力のみ。

表 7-1 債権メニュー

変数	説明
<i>Yield%=</i>	指定された価格に対する、最終償還日までの利回り率またはコール実行日までの利回り率。注: 入力/出力。
<i>Price=</i>	指定された利回りに対する、額面 \$100.00 ドルあたりの価格。注: 入力/出力。
<i>Accrued=</i>	指定された利回りに対する、最後の利払い日または支払い日から決済日までの経過利息。注: 入力/出力。
<i>Actual/Cal.360</i>	実日数建て (365 日カレンダー) または年 360 日建て (月 30 日/年 360 日カレンダー)。
<i>Annual/Semiannual</i>	債権利払いの頻度。

最終償還日が 2020 年 6 月 4 日の 6.75% の米国財務省長期債権で、4.75% の利回りを望む場合、2010 年 4 月 28 日にいくら支払う必要がありますか？ 債権の計算は、実日数建て、半年払いの利払いで行うものとします。表 7-2 をご参照ください。以下の例は、アクティブな動作モードとして RPN で示しています。

表 7-2 債権計算の例

キー	ディスプレイ	説明
----	--------	----

表 7-2 債権計算の例

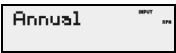
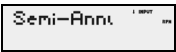
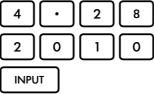
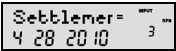
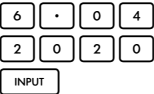
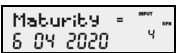
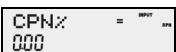
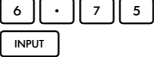
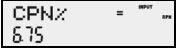
キー	ディスプレイ	説明
		現在の決済日で始まる債権メニューを開きます。
		債権利払いの頻度までスクロールします。
		例で求められている半年払いの利払い方式を選択します。
		半年払いの利払いを入力し、現在の決済日に戻ります。
		現在の決済日を <i>mm. ddyyyy</i> 形式で入力します。注: ディスプレイの 3 は、曜日を表します。
		現在の最終償還日を <i>mm. ddyyyy</i> 形式で表示します。
		現在の最終償還日を入力します。 注: ディスプレイの 4 は、曜日を表します。
		CPN%= の現在の値を表示します。
		CPN%= の現在の値として 6.75 と入力します。

表 7-2 債権計算の例

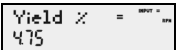
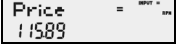
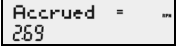
キー	ディスプレイ	説明
		現在のコール償還価格を表示します。デフォルトは 100 です。注: <i>Call</i> = に別の値を入力する必要がある場合、数値に続けて  と入力します。
		<i>Yield</i> %= の現在の値を表示します。
    		<i>Yield</i> %= の現在の値として 4.75 と入力します。
		<i>Price</i> = の現在の値を表示します。
		<i>Price</i> = の現在の値を計算します。
  		115.89 をメモリ 1 に保存します。
		経過利息の現在の値を表示します。
  		2.69 をメモリ 2 に保存します。

表 7-2 債権計算の例

キー	ディスプレイ	説明
ON/C RCL 1 + RCL 2 =	118.58	合計価格 (価格値 + 経過利息値) の結果を返します。この債権に対して支払う必要がある正味価格は、\$118.58 ドルです。

8 減価償却

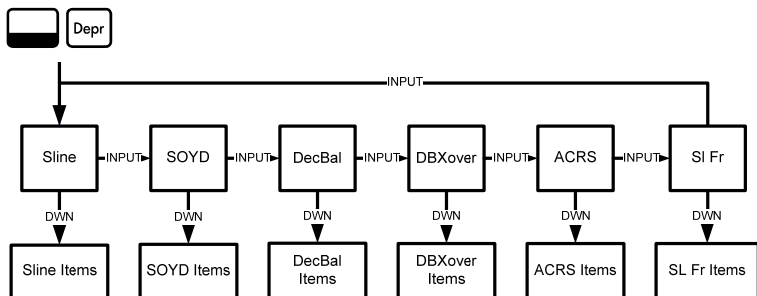


図 8-1 減価償却メニューのメニューマップ

減価償却メニューを開くには、 **Depr** と押します。**INPUT** を押して、減価償却方法を順に切り替えます。減価償却方法が表示された状態で、 または を繰り返し押して、サブメニューのアイテムを表示します。現在のデータを入力するには、数値を入力して **INPUT** を押します。

減価償却メニューをリセットするには、 **Reset** と押します。*Depreciation* が表示された状態で、メニューをリセットするには **INPUT**、キャンセルするには **ON/CE** を押します。メニューを終了するには、もう一度 **ON/CE** を押します。

減価償却の計算に使用される方法の簡単な説明は、表 8-1 をご参照ください。表 8-2 には、減価償却サブメニューにあるアイテムの説明を示します。定額法を使用した減価償却の計算例は、表 8-3 をご参照ください。

表 8-1 減価償却方法

減価償却方法	説明
Sline (定額法)	定額法は、資産がその耐用年数を通じて毎年均等にその価値の一定額を失うものと仮定して、減価償却を計算する方法です。
SOYD (年数 総和法)	年数総和法は、資産の耐用年数から経過年数を差し引いた残存耐用年数を分子とし、その期までの残存耐用年数の合計を分母として除算するという考え方に基づいた、加速度的減価償却方法です。たとえば、5 年の耐用年数は、 $5 + 4 + 3 + 2 + 1 = 15$ と示されます。4 ÷ 15 と押してから = を押すと、初年度の減価償却として 27% が返されます。RPN では、4 INPUT 15 ÷ と押します。
DecBal (特殊 定率法)	特殊定率法は、資産がその耐用年数の初めのうちにその価値の大半を失うものと仮定する加速度的減価償却方法です。
DBXover (特 殊定率クロス オーバー法)	特殊定率クロスオーバー法は、資産がその耐用年数の初めのうちにその価値の大半を失うものと仮定する加速度的減価償却方法ですが、その耐用年数の後半では、一定の減価償却に戻り、定額法を使用して計算を行います。

表 8-1 減価償却方法

減価償却方法	説明
ACRS (ACRS 法)	ACRS 法 (Accelerated Cost Recovery System) は、米国の Accelerated Cost Recovery System に基づいて所得税の控除額を計算します。
SI Fr (フランス式定額法)	フランス式定額法。この減価償却方法は、実際のカレンダー日付を <i>mm. dd</i> 形式で <i>Start=</i> に入力して、資産を最初に供用に給することを示すという点を除き、定額法と類似しています。

表 8-2 減価償却メニューのアイテム

アイテム	説明
<i>Life=</i>	資産の想定される耐用年数。
<i>Start=</i>	<i>Start</i> は、資産を最初に供用に給する日付または月を示します。減価償却の種類によっては、月または <i>mm.dd</i> 形式の実際の日付になります。
<i>Cost=</i>	取得時の資産の減価償却基礎価額。
<i>Salvage=</i>	耐用年数満了時の資産の残存価額。
<i>Year=</i>	減価償却する年次の数値を割り当てます。

表 8-2 減価償却メニューのアイテム

アイテム	説明
<i>Depreciation=</i>	定額法、SOYD、および特殊定率法にのみ使用される減価償却計算。
<i>R.Book Value=</i>	残存帳簿価額。
<i>R.Depreciable Value=</i>	残存減価償却可能価額。
<i>Factor=</i>	パーセント表示の定率法係数。特殊定率法と特殊定率クロスオーバー法にのみ使用されます。

金属加工機械を \$10,000.00 ドルで購入し、5 年間で減価償却するものとします。耐用年数満了時の残存価額は \$500.00 ドルと見積もられます。定額法を使用して、この機械の最初の 2 年間それぞれの減価償却価額と残存減価償却可能価額を求めます。表 8-3 をご参照ください。

表 8-3 定額減価償却の例

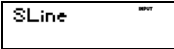
キー	ディスプレイ	説明
 Depr		定額法で始まる減価償却メニューを開きます。
		耐用年数の現在の値を表示します。デフォルト値は 1 です。
 INPUT		耐用年数の現在の値として 5 と入力します。

表 8-3 定額減価償却の例

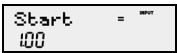
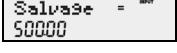
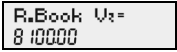
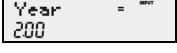
キー	ディスプレイ	説明
		<i>Start=</i> の現在の値を表示します。デフォルト値は 1 です。
		<i>Cost=</i> の現在の値を表示します。
     		原価の現在の値として 10,000.00 と入力します。
		<i>Salvage=</i> の現在の値を表示します。
   		耐用年数満了時の残存価額として 500.00 と入力します。
		減価償却の現在の年次を表示します。デフォルト値は 1 です。
		1 年経過後の現在の減価償却価額を表示します。
		1 年経過後の現在の残存帳簿価額を表示します。
		初年度経過後の現在の残存減価償却可能価額を表示します。
		減価償却の現在の年次を表示します。

表 8-3 定額減価償却の例

キー	ディスプレイ	説明
▼	Depreciat = 1900000	2 年経過後の現在の減価償却価額を表示します。
▼	R.Book Val = 6200000	2 年経過後の現在の残存帳簿価額を表示します。
▼	R.DePreci = 5700000	2 年経過後の現在の残存減価償却可能価額を表示します。

9 損益分岐

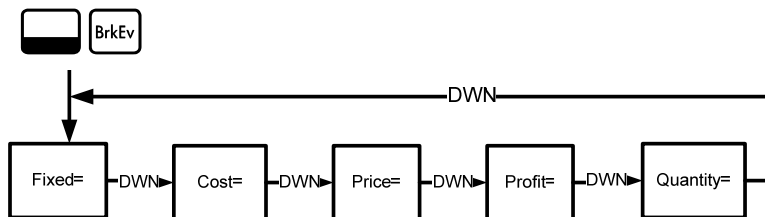


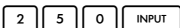
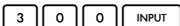
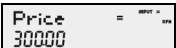
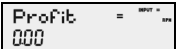
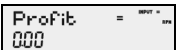
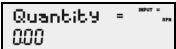
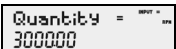
図 9-1 損益分岐メニューのメニューマップ

損益分岐メニューを開くには、 **BrkEv** と押します。 *Fixed=* から始めて、数値を入力して **INPUT** を押して、既知のデータを入力します。未知の変数までスクロールするには、 または を繰り返し押します。 **=** を押して計算します。

損益分岐メニューをリセットするには、メニュー内の任意の場所から **Reset** と押します。 *BrkEven* が表示された状態で、メニューをリセットするには **INPUT**、キャンセルするには **ON/CE** を押します。メニューを終了するには、もう一度 **ON/CE** を押します。

アイテムの売価が \$300.00 ドルで、可変の原価が \$250.00 ドル、固定の原価が \$150,000.00 ドルとします。 損益分岐点 (profit = 0%) に到達するには、いくつ販売する必要がありますか？ 表 9-1 の例は、アクティブな動作モードとして RPN で示しています。

表 9-1 損益分岐の例

キー	ディスプレイ	説明
 BrkEv		固定原価の現在の値で始まる損益分岐メニューを開きます。
		固定原価の現在の値として 150,000.00 と入力します。
		Cost= の現在の値を表示します。
		原価の現在の値として 250.00 と入力します。
		Price= の現在の値を表示します。
		売価の現在の値として 300.00 と入力します。
		Profit= の現在の値を表示します。
		利益の現在の値として 0 と入力します。
		Quantity= の現在の値を表示します。
		未知のアイテムの現在の値を計算します。0% の利益を返すには、3000 個販売する必要があります。

10 保証、規制、および連絡先情報

電池の交換

新しい電池のみ使用してください。充電式電池は使用しないでください。EURO では、2 個の 3 V CR2032 リチウム電池を使用します。新しい電池を取り付けるには:

1. 電卓の電源をオフにしてから、バックカバーをずらして外します。
2. 古い電池を取り外します。
3. 肯定極性記号を上向きにして、新しい電池を取り付けます。
4. バックカバーを元に戻します。

警告! 電池を不正な方法で交換すると、電池が破裂する恐れがあります。製造元が推奨する電池と同じまたは同等の種類にのみ交換してください。使用済みの電池は、製造元が指定する廃棄方法に従って処分してください。電池を解体したり、穴をあけたり、火中に廃棄したりしないでください。電池が爆発または破裂して、危険な化学薬品が飛び散る可能性があります。

HP によるハードウェア限定保証およびカスタマ・ケア

本 HP 限定保証規定は、お客様に対し、製造元である HP からの明示的かつ限定的な保証の権利を与えるものです。この限定保証規定により与えられる権利の詳細な説明については、HP の Web サイトをご覧ください。さらに、該当する地域法または HP との書面による特別な契約によって、その他の法律上の権利が与えられている場合もあります。

ハードウェアの限定保証期間

期間: 合計 12 ヶ月間 (地域によって異なる可能性があります。最新情報については、www.hp.com/support をご覧ください)

一般条項

HP は、お客様が HP から購入された HP ハードウェア製品、付属品、およびサプライ品について、上記の保証期間中、材質および製造過程での問題がないことを保証します。HP は、保証期間中に欠陥品である旨の連絡を受けた場合、自社の判断に基づいて欠陥品を修理または交換します。交換用の製品は、新品もしくは新品に近い製品とします。

HP は、お客様が HP から購入された HP ソフトウェア製品について、上記の保証期間中、正しくインストールし使用している場合に限り、品質および製造過程での問題により、プログラム命令の正常な実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中に欠陥品である旨の連絡を受けた場合、自社の判断に基づいて、このような欠陥によりプログラム命令を正常に実行できないソフトウェアメディアを交換します。

HP は、この製品の動作に中断が生じないこと、またはエラーがないことを保証しません。HP は、保証対象の欠陥品を妥当な期間内に適切に修理または交換できない場合、お客様から購入証明付きで当該製品が遅滞なく返却されれば、製品の購入代金を払い戻します。

HP 製品には、新品と同等の性能を有する再生部品、または付帯的に使用されていた部品が含まれている可能性があります。

上記の保証は、(a) 誤った、または不適切な保守やキャリブレーション、(b) HP 以外のソフトウェア製品、インタフェース、部品、またはサプライ品、(c) 当社が認めていない改造または誤使用、(d) 製品の公表された動作仕様範囲外の操作、(e) 不適切な場所での準備や保守から生じた欠陥については適用されません。

書面または口頭にかかわらず、当社は本製品に関して上記以外の明示的保証または条件提示は一切行いません。地域の法律で認められる範囲内において、商品性、許容品質、特定用途としての適合性に対するすべての暗示的保証は、上記に明示された保証期間に限定されます。国、州、または地域によっては、暗示的保証期間に対する制限を認めていない場合もあるため、上記の制限事項または免責事項が適用されないことがあります。本保証規定は、お客様に特定の法律上の権利を与えるものです。また、お客様は、他の権利を有する場合もありますが、その権利は国、州、または地域によって異なります。

地域の法律で認められる範囲内において、本保証に記載された救済措置が唯一の排他的な救済措置となります。上記を除き、HP またはそのサプライヤは、データの損失も

しくは直接的、特殊、偶発的、結果的 (利益の損失を含む) またはその他の損害につき、契約、不法行為その他いかなる理由によってでも、責任を負いません。国、州、または地域によっては、偶発的または結果的損害に対する免責または制限を認めていない場合もあるため、上記の制限事項または免責事項が適用されないことがあります。

HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付帯している明示的保証規定に記載されている事項に限定されます。本保証規定に含まれている技術的または編集上の誤り、もしくは欠落について、HP は責任を負いません。

オーストラリアおよびニュージーランドでは、法律で許可される範囲を除き、本保証規定の条項によって、本製品の販売に対して適用される義務的な法的権利を排除、制限、変更することはできません。この保証の条件は、これらの法的権利に加えて適用されます。

カスタマ・ケア

1 年間のハードウェア保証に加えて、HP 電卓には 1 年間のテクニカルサポートも付帯しています。ご不明な点については、電子メールまたは電話で HP カスタマ・ケアまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、以下のリストにある、お客様の最寄りのコールセンターへお問い合わせください。また、購入証明書と電卓のシリアル番号もお手元にご用意ください。

電話番号は変更される可能性があり、市内および国際電話料金が適用される可能性があります。詳細なリストについては、以下の Web サイトから入手できます。

www.hp.com/support

Regulatory Information

Federal Communications Commission Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett-Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States Only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

If you have questions about the product that are not related to this declaration, write to

Hewlett-Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston, TX 77269-2000

For questions regarding this FCC declaration, write to

Hewlett-Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, TX 77269-2000
or call HP at 281-514-3333

To identify your product, refer to the part, series, or model number located on the product.

Canadian Notice

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Regulatory Notice

This product complies with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) which are listed on the EU Declaration of Conformity issued by Hewlett-Packard for this product or product family.

This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product:

 This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth).	 This marking is valid for EU non-harmonized Telecom products . *Notified body number (used only if applicable - refer to the product label)
--	---

Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany

Japanese Notice

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure

that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

過塩素酸塩材 - 特別な扱いが必要となる場合があります

この電卓のメモリバックアップバッテリーには、過塩素酸塩が含まれている可能性があります。カリフォルニア州でリサイクルまたは廃棄する場合、特別な扱いが必要となる可能性があります。

化学物質

HP は、REACH (欧州議会および理事会の規則 (EC) No 1907/2006) などの法的要件に準拠するための必要に応じて、HP 製品で使用されている化学物質に関する情報をお客様に提供するように努めています。このプリンタの化学情報レポートについては、www.hp.com/go/reach を参照してください。

Country/Region	Contact
Africa (English)	www.hp.com/support
Africa (français)	www.hp.com/support
Argentina	0-800-555-5000
Australia	1300-551-664
Belgique (français)	02 620 00 85
Belgium (English)	02 620 00 86
Bolivia	800-100-193
Brasil	0-800-709-7751
Canada	800-HP-INVENT
Caribbean	1-800-711-2884
Česká republikaik	296 335 612
Chile	800-360-999
China 中国	010-68002397
Colombia	01-8000-51-4746-8368

Country/Region	Contact
Costa Rica	0-800-011-0524
Denmark	82 33 28 44
Deutschland	069 9530 7103
Ecuador	800-711-2884
El Salvador	800-6160
España	913753382
France	01 4993 9006
Greece Ελλάδα	210 969 6421
Guatemala	1-800-999-5105
Honduras	800-711-2884
Hong Kong 香港特別行政區	852 2833-1111
India	www.hp.com/support/india
Indonesia	+65 6100 6682
Ireland	01 605 0356
Italia	02 754 19 782

Country/Region	Contact
Japan 日本	81-3-6666-9925
Korea 한국	www.hp.com/support/korea
Magyarország	www.hp.com/support
Malaysia	+65 6100 6682
México	01-800-474-68368
Middle East International	www.hp.com/support
Netherland	020 654 5301
New Zealand	0800-551-664
Nicaragua	1-800-711-2884
Norwegen	23500027
Österreich	01 360 277 1203
Panamá	001-800-711-2884
Paraguay	(009) 800-541-0006
Perú	0-800-10111
Philippines	+65 6100 6682

Country/Region	Contact
Polska	www.hp.com/support
Portugal	021 318 0093
Puerto Rico	1-877 232 0589
Russia Россия	495 228 3050
Schweiz (Deutsch)	01 439 5358
Singapore	6100 6682
South Africa	0800980410
South Korea 臺灣	2-561-2700
Suisse (français)	022 827 8780
Suomi	09 8171 0281
Sverige	08 5199 2065
Svizzera (italiano)	022 567 5308
Türkiye	www.hp.com/support
Taiwan 臺灣	+852 28052563
Thailand ไทย	+65 6100 6682

Country/Region	Contact
United Kingdom	0207 458 0161
United States	800-HP INVENT
Uruguay	0004-054-177
Venezuela	0-800-474-68368
Việt Nam	+65 6100 6682